

「通常の教育活動が再開！」

生徒の皆さん、保護者の皆様、6月15日（月）から通常の教育活動が始まりました。月曜日の朝、放送でお伝えした内容の一部です。

私は、皆さんが登校する時、校門で迎えることが多いですが、どの生徒も気持ちよく挨拶を返してくれます。もちろん、「おはようございます」と、自分から挨拶をしてくれる生徒も、たくさんいます。「本校の生徒は素直だなあ〜」と、思っています。

そんな皆さんだからこそ、今日は、特に協力してほしいことを伝えます。

先週の分散登校の時も、先生方は、3密を避けるため、朝教室の窓を開け換気をする、エアコン使用時は換気扇を回しドアを開ける、教室で授業する際はマスクを着用する、放課後に机を消毒する、など様々な感染防止の対策を行ってきました。

でも、これだけ多くの人たちが生活する場では、先生方の頑張りだけではなく生徒の皆さん一人一人の協力が、是非とも必要です。

皆さんは今、登校時に昇降口に置かれた消毒液で、手の消毒を当たり前のようにしていますよね。それと同じように、「朝の検温や健康チェック」「昼食時などのこまめな手洗い」「相手との1m程度の距離」「咳エチケット」「控え目な会話」、そして「十分な換気」。

このようなことが、教室でも部活動の場でも、当たり前に行えるようになってほしい、と思っています。自分や友達、家族、そして学校を大切にしていくために、皆さん自らも積極的に行動してくださいね。「新たな日常」を、そして充実した毎日を、一緒に作りましょう。



教室では、マスクを着用し、換気や熱中症にも気をつけながら、授業が行なわれています。生徒の皆さんが学んでいる様子や、先生方の声を聞くたびに、改めて「この時間を大切にしていきたい！」と感じています。当たり前のことができる喜びを、生徒の皆さん、そして教職員の皆さんも実感しているのではないのでしょうか。

これまで使用を控えていた食堂前などにあるウォータークーラーは、熱中症予防のため、注意喚起や注意書きをした上で使用を認めています。食堂も再開し、密にならない利用のルールを生徒の皆さんにも伝えています。もちろん教室で昼食をとる場合も同様です。

放課後には、保健室や各学年の先生方が、ドアノブや机などの消毒を行なっています。毎朝の健康チェックなども含めて、前回お伝えした「新たな日常」を、学校に関わる全ての方々と協力し合いながら、作っていきたいと思っています。7月16日（木）から期末考査が始まり、各学年の保護者会なども予定しています。今後とも、お力添えのほどよろしくお願い申し上げます。（校長 黒河内 雅典）